

抜群のバランスで
挽き割りもラク



安定感のある回転とバランスの良さで手首に過度な負担がかかりがちな挽き割りもスムーズに。その理由はハンドルが重心と刃に近いからだ。



定規の固定はワンタッチで素早く確実にこなせる。「対応サイズも幅広く、しかも手軽。定規交換でも仕事の流れを妨げることがないのがうれしいですね」※使用しているのは限定カラーモデル



「アタリを良くしたい時、逆側から切りたい時などたまにしか使いませんが、その時こそあるとなしでは大違い！」と中島さんが絶賛するのが5度左傾斜機能。

電子丸ノコの

ここが快適!!

- 1 バランスのよさが生む抜群の安定感
- 2 左5度の傾斜機能で作業がスムーズに!
- 3 取り回しのよいしなやかなコードでストレスなし



ハッキリ言うって職人は最高の道具しか使わない!



リョービ
電子丸ノコ
W-663ED

価格 4万1364円 長さ276×幅218×高さ243mm / ノコ刃外径:165mm / 最大切込深さ:90°=66mm、45°=44mm、5°(左傾斜切断時)=52mm / 回転数:4,000min⁻¹ / 質量2.6kg / 2014グッドデザイン賞受賞

弘建ホーム
代表取締役
中島弘道さん



昭和47年生まれ。職人歴22年。施主との距離を最小限に縮め、要望にダイレクトに応えられる住宅づくりをめざし独立。株式会社弘建ホーム代表取締役。

「リョービの丸ノコは使い始めたのは、先輩から勧められたのがきっかけでした。手になじむハンドルの形状やブレの少なさ、精度の高さなどの理由から現在では7、8台を使い分けています」と中島さん。取材はその使い慣れたモデル数台と新モデル「W663ED」を合わせて使ってもらいながらお話を伺った。

「リョービの丸ノコはどれもトータルバランスのよさが他と比べると際立ちます。ハンドルが重心に近く、刃にも近いから安定性が抜群ですね。147mm・165mmモデルは左側に少しだけ5度傾けて切れるのもいい。この機能は頻繁に使うわけではないのですが、必要な時にわざわざ道具を調整したり、立ち位置を変えなくてもスムーズに作業が進められる。また刃と水平に取り付けられたコードも作業のジャマになりにくくて気に入っています。ただコード自体が少し硬く、扱いにくさを感じていました。その点、新モデルはしなやかなものに改良されており、グントと扱やすくなりましたね。また丸ノコは使わない時は刃を上にして置いておくのが現場での通例。その時のことまで考慮し、床材に傷がつかないように盤の角にゴムを配するなど、細かな部分まで気を配ったつくりも実は魅力だという。職人たちは丸ノコにただ鋭い切れ味だけでなく、トータルな使い勝手のよさを求めているのだ。

「モノ・マガジン」2015年2月2日号に掲載

リョービのパワーツールは

職人たちの快適工具!

キャリアを重ねた職人たちの道具を選ぶ目は厳しい。決して機能を最優先させるわけではなく、それぞれの手の感覚に響き合うような道具を長く愛用している。使い込むほどに快適さが増していくのがプロの道具だ。

写真/熊谷義久(WPP) 文/井上清



すべての経験値を
指先に集約した達人技!

奇藤一修さん



正確無比に木材を
斬る姿はもはや名人芸!

中島弘道さん

リョービ
かんしつ
「乾湿両用」
集じん機
VC-51
価格1万5768円

長さ350×幅285×高さ370mm/集じん容量(乾燥)5ℓ(液体)5ℓ/電源AC100V/質量4kg

集じん機

ここが快適!!

- 1 肩に掛けて使えるのが便利
- 2 小さくてもパワフル
- 3 乾湿両用など多彩な機能性

左は丸ノコに接続して使用中。細かな木くず等が出る機器に繋げて使えるので、ゴミが拡散する前に確実にキャッチ! 付属ホース+細径の延長ホースを繋げて使えば快適。下は付属ベルトで肩に掛けて使用。重さは4kgなので、こうして使ってもラクラク。階段はもちろん機材など障害物動きを妨げる場所でも掃除機がけが可能。

肩に掛ければ
どんな場所でも快適

小型でも
プロも納得の
ハイパワー!

ゴミ捨てカンタン

細かなホコリも確実にキャッチするカートリッジフィルタ仕様。高容量のスクエアボディに溜まったゴミはそのままゴミ袋へ。

軽くて小型なのにパワーは充分! 「持ち運びがラクだから車に積む時にも便利。シンプルで扱いやすいので家庭用としても使いやすいかも」とは斎藤さんのファーストインプレッション。さらに「乾湿両用のも便利。雨の日の外周りとかに重宝しそうですな」

TV CM
放送中!

職人が選ぶ
パワーツール編



スグれた集じん機で職人たちは 本日の仕事をシメる!



小回りのみじんコンパクトさ
1台4役の多機能集じん機

建築現場で職人さんたちが丁寧に掃除をしてからその日の仕事を終える姿をよく見かけるが、それは掃除は仕事の基本、ということが若い頃から徹底されているから。だから大工道具と同様に集じん機にもこだわりがある。ニューアイテム「VC-51」は、そんな職人たちの納得させる機能を備えているようだ。まずストラップで肩に掛けて使える重さながら充分なパワーを備えていること。階段や細かな場所の掃除が大得意なのだ。さらにフィルタを換えれば水を吸い上げることもでき、湿った個所の掃除も可能。ホースを排気口に接続すればプロフワもなる。丸ノコなどほかの工具とホースで接続しても使えるから塵の拡散を防ぎながら作業できる。まさに1台4役の多機能集じん機なのだ。また中島さん、斎藤さんとも高く評価したのが優れたコストパフォーマンス! DIYを趣味とする人なら専用掃除機として揃えておくのもいいだろう。

プロの道具はタフであることだから安心して使える
以前「monoの大捜査線」にも登場いただいたスコ腕職人、斎藤さん。今回はもっとも得意とするリフォームの現場に欠かせない道具「小型レシプロソー」の達人として再登場! 「自宅横の作業場で、実際のリフォーム現場でのレシプロあるある。を再現してもらいながら、その魅力や使い方について伺った。

「自分の若い頃にはこんな便利な道具はなかった。だから小型レシプロソーが登場して以来、解体作業の効率は格段にアップしましたね。リョービは小型レシプロソーのパイオニア的メーカーだからさすがに使いやすいね。一番気に入っている点は刃の動きがショートストロークであること。反動が少ないから作業が正確に行なえるし、安全性も高まるからね」と床の際切りを鮮やかな手つきで披露してくれた。「リフォームでは本場に出番の多い道具。だから片手でラクに扱える重さとサイズがうれしい。またバリエーション豊富な刃が装着できるから、あらゆる場面で小回りの利いた活躍ぶり。あとはやはり壊れにくいことでしょうか。シンプルな構造も相まって、長く

斉藤建築
斎藤一修さん



職人歴25年。大工は子どもの頃からの夢だったという。「お客さんの喜んだ顔、それを見るのが楽しみです」。介護ホームなど福祉住環境のスペシャリストでもある。
<http://saito-kr.com>

職人が リョービを選ぶ 本当の理由!

使えるタフな道具に仕上がっていると
思います。やっぱりプロ道具はタフじゃなきゃダメですね!。しかしベテランの斎藤さんでも、使い始めた頃は便利かつ手ノコに比べて飛躍的に切れるゆえの失敗もあったという。何を切ってしまったのかはまた後日というところで、いずれにしろタフで頼れる道具であることは間違いありません。

小型レシプロソー

ここが快適!!

- 1 刃のストロークが短く反動が少ない
- 2 軽くてコンパクトだから疲れにくい
- 3 故障の少ないタフなつくり

リョービ
小型レシプロソー
RJK-120

価格3万7800円 長さ320×幅70×高さ103mm/切断能力:塩ビ管(直径)120mm、木材55mm、軟鋼材3.5mm/ストローク数:0~5,000min⁻¹/ストローク量:10mm/単相100V・3A・280W/質量1.2kg

※別売のレシプロソー刃、全切ノコ刃、ワイヤブラシ、ヤスリが取付け可能。



アルミ枠の
付いた木材も
そのまま
一刀両断

こんなのも
使ってます!



リョービのロングセラーのひとつであるコンパクトなバンドソー「BS-51N」。分りやすい言葉でどこでも小さな製材所になるマシン。リフォーム現場に持ち込めるサイズなのが魅力。小型バンドー BS-15N 価格37万1520円/幅640×奥行450×高さ880mm/質量50kg

再現してもらった床材の際切りシーン。大部分は丸ノコで行なうがどうしても刃の届かない角部分が出現する。ここで活躍するのが小型レシプロソーだ。切込み間に刃を入れるとあっという間に終了。以前は左写真のように手ノコで処理する大変な作業だった。その他、くり抜きなど細かな作業の効率を大幅にアップさせるリフォームの必需品。

小型で軽量、しかも反動の少ない設計だから、逆手に持ったこんなプロ技も! ただしこの持ち方一般の方には危険なので絶対に真似するべからず。